

極東國際軍事裁判所

亞米利加合衆國其他

對

荒木貞夫其他

宣誓供述書

供述者

石渡莊太郎

自分儀我國ニ行ハルル方式ニ從ヒ先ツ別紙ノ通り宣誓ヲ爲シタル上次ノ  
如ク供述致シマス

口 供 書

一私（石渡莊太郎）ハ第一次近衛内閣時代賀屋藏相（一九三七、六一  
一九三八、五）ノ下ニ大藏次官ヲ勤メテ居リマシタ。其ノ間陸軍省  
作製ニカ、ル重要産業五ヶ年計畫又ハ陸軍省作製ニカ、ル軍需工業  
五ヶ年計畫ト云フモノニ付テハ聞イタコトモ讀ンダコトモアリマセ  
ンデシタ。

從テ大藏省ノ施策ニ付テ之ヲ参考トシタリ或ハ其ノ趣旨ヲ取り入レ  
タコトノナイコトハ申ス迄モアリマセン。

昭和二十二年（一九四七年）九月拾九日於東京

供述者 石渡 莊太郎

右ハ當立會人ノ面前ニテ宣誓シ且ツ署名捺印シタルコトヲ證明シマス

同日於東京

立會人 田中 康道

フ

良心ニ従ヒ眞實ヲ述べ何事ヲモ黙秘セズ又何事ヲモ附加セザルコトヲ誓

宣

誓

書

(署名  
捺印)

石  
渡  
莊  
太  
郎

4